

# 校長だより

福津市立福間東中学校  
校長 猪股 清貴  
平成 28 年 12 月 19 日 No48

## 全国の中学生が頑張ってます！

～負けるな！東中生～

### 受験という団体戦に勝つ

中学生 新谷 唯我14 (東京都町田市)

先日、僕たち中学3年生にとって、受験に向けて一番大事な、2学期末テストが終わった。その解放感を味わう暇もなく、受験の準備を進めなければならない。でも僕は一人で準備しているのではない。クラスみんな準備しているのだ。その瞬間に思った。「二人じゃ

ないんだな」

担任の先生が言っていた言葉がある。「37分の37」だ。37はクラスの人数で、誰か一人でも足りないという意味だ。受験だって全員受からないと本当の合格とは言えないのだ。だからこそ僕は、時には支え、時には支えられ、受験という団体戦をクラスみんなと勝って卒業を迎えたいと思う。

左は12月14日付毎日新聞朝刊の「みんなの広場」に寄せられた読者の声です。全国の中学校3年生が進路実現に向けて頑張っています。これを読んで東中学校の3年生にもエールを送りたくになりました。三者面談を終え3年生には私立高等学校の願書が配布されました。年明け1月24日には福岡地区、北九州地区の私立高等学校の専願、推薦入試が実施されます。福岡地区の私立高等学校の前期一般入試も次の週の2月3日に行われます。いよいよですね。

3年生には4月初めから受験は団体戦だということを話してきました。15の春を迎える扉は重く、一人で開けようとするとなかなか手ごわい扉かもしれません。しかし、198人の仲間が力を合わせ、198の扉を一つずつ開けていけば、簡単に開けることができるかもしれません。「一人じゃないんです」198人の仲間とチームでスクラムを組んで支えてくれている先生方がいます。自分の進路実現と共に、クラスメートのそして3年生みんなの進路実現を目指して互いに支えあっていきましょう。

この時期のマイナス発言や自分だけは・・・という我がまま、生徒指導等の問題は一生懸命に団体戦を戦っている仲間の足を引っ張るだけです。ありえませんか。

## 今年も雅な箏の音色が響いています

今年も3階の音楽室からは日本古謡「さくらさくら」のリズムに合わせて雅な弦の音色が聞こえてきます。姿勢を正し、箏に向かって斜め45度に構えた姿に凛とした美しさを感じます。また、3人グループで協力し合いながら一つの演奏を創り上げようとする姿に心温まる思いがします。演奏者は一生懸命に弦を見つめています。残る二人は手拍子と歌で演奏者を支えます。音楽科では3年間を通じて1種類以上の和楽器を扱い、実際に表現活動を通して、音色や響き、奏法の特徴、表現力の豊かさや繊細さなどを感じ取ることで、日本の伝統音楽の良さを味わうことが学習内容として示されています。1年生は右手で弦を弾くことが中心になりますが、これから学習する2年生では左手も用いた奏法を学ぶそうです。楽しみですね。

